



第二中学校だより

正 **強** **美**
しく しく しく

青梅市立第二中学校
令和6年3月18日

年度末を迎えて

校長 青山 隆志

◎ 卒業生の皆さんへ（1日早いですが…）

ご卒業おめでとうございます。皆さんは、日々の授業へ一生懸命に取り組み、行事、儀式のときには、集団としてのあるべき姿を見事に見せてくれました。これからも第二中学校で学んだことに誇りと自信をもって、何事にも前向きに頑張ってください。

◎ 午前3時36分

人生を潤いのあるものとするためには夢をもつことが大切です。もし何か壁にぶつかったとしても、夢はそれを乗り越える原動力になるはずです。そうは言っても、「まだ夢がもてない。」「見つからない。」という人もいるかもしれませんが、そんな人は、もっと気楽に自分の今もっとも興味のあること、やってみたいことにチャレンジしてみてください。

これから皆さんが生きていく時代は、人生100年の時代と言われています。その100年を1日に置き換えると、皆さんたち、15歳は、何時頃にあたると思えますか？なんとまだ午前3時36分です。ぐっすり眠っている、言い換えれば1日の活動を始めるために活力を蓄えている最中の時間です。

もしその気になれば、少し早起きをして、昇る朝日を見ることもできます。皆さんの人生を1日に例えれば、15歳はまさに夜明け前のあらゆる可能性に満ちた時刻なのです。夢をもつのも、叶えるのも、何かを新たにやり始めるのも、その結果を出すのもまだまだ「これから」です。夢が見つからないと焦ることはありません。

◎ 夢は進化する

世の中には、野球のイチロー選手や大谷翔平選手など、小学校や中学校の頃の夢を一途に追い、それを叶えたすごい人もいますが、成長とともに興味のあることがいろいろと変わり、夢がその都度変わるということも決して珍しいことではありません。いろいろな経験を積むことにより、夢はどんどん変化して、どんどん上書きされていくことがあるからです。

卒業生の皆さんが、これからの人生の中で、様々な経験を積み、夢、それが一途であろうが、どんどん変わろうが、常に夢をもち続け、希望に満ちた人生を送られることを心より願っています。

◎ 在校生の皆さんへ

卒業生の姿を見てきた皆さんならば、きっと「3年生が学校生活に一生懸命取り組み、最上級生として1、2年生の模範となる。」という第二中学校のよき伝統を引き継いでいってくれるものと思います。次は在校生の皆さんの番です。

◎ 年度末を迎えて

保護者の皆様や地域の皆様には、この1年間、第二中学校の教育活動にご理解、ご協力を賜りましたことを深く感謝いたします。これからも第二中学校に対しまして、より一層のご支援、ご協力を賜りますとともに、卒業生、在校生を温かく見守ってくださいますようお願いいたします。